

タイトル：医療者が知っておくべき LGBTQ についての知識

日本の調査では回答者の約3~9%がLGBTQに相当したと報告されています。しかし日本ではカミングアウトする人は少なく、LGBTQの人たちは見えにくい存在ともいえます。医療機関でスタッフが無意識のうちに異性愛主義や男女二元論に基づいた対応をすることで、受診しにくいと感じている患者さんや、働きにくいと感じているスタッフがいるかもしれません。特にトランスジェンダーの人は、約半数が医療機関への受診をためらったり、受診した際に不快な経験をしたと報告されています。

本講演では、LGBTQに関する基礎知識をお伝えします。検査の際にどのような配慮ができるか、ぜひ一緒に考えましょう。ご参加をお待ちしています。